

日時：平成23年12月19日（月）13:30～

場所：宇宙科学研究所新A棟二階会議室

第34回宇宙理学委員会議事次第

所長挨拶

- | | |
|-----------------------------------------|---------------|
| 1.宇宙科学に関連する最近の動き | 資料1-1, 2 |
| 2.第33回宇宙理学委員会議事録（案）について | 資料2 |
| 3.諸報告 | |
| (1) 第28回宇宙工学委員会報告 | 資料3-1 |
| (2) あかり運用終了報告 | — |
| (3) はやぶさ2TF中間報告 | 資料3-3-1, 2 |
| (4) はやぶさサンプル分析国際A0について | — |
| (5) 小型科学衛星専門委員会報告 | 資料3-5 |
| (6) 宇宙科学国際調整報告 | |
| 4.議事 | |
| (1) 宇宙理学班員登録申請について | 資料4-1 |
| (2) SPICAリスク低減作業について | 資料4-2-1, 2, 3 |
| (3) かぐや終了審査報告 | 資料4-3 |
| (4) Geotail運用延長審査委員会報告 | 資料4-4-1, 2, 3 |
| (5) Athena審査委員会報告 | 資料4-5-1-4 |
| (6) MAXI科学評価委員会報告 | 資料4-6-1, 2 |
| (7) 宇宙科学プログラムについての集中審議
趣旨説明 | |
| 第1部 今後の宇宙科学プログラムについて | 資料4-7-1 |
| 第2部 今後約20年間におけるミッション構想案 | |
| (1) X・ガンマ線天文 | 資料4-7-2-1 |
| (2) 光赤外天文 | 資料4-7-2-2 |
| (3) 電波天文 | 資料4-7-2-3 |
| (4) 太陽物理 | 資料4-7-2-4 |
| (5) 磁気圏物理 | 資料4-7-2-5 |
| (6) 月・惑星・小惑星探査 | 資料4-7-2-6 |
| (7) 基礎物理（重力波・宇宙論実験・素粒子実験・宇宙線実験） | 資料4-7-2-7 |
| (8) 工学 | 資料4-7-2-8 |
| (9) 各分野のミッション構想案から読みとる大型・中型・小型の必要打ち上げ頻度 | 資料4-7-2-9 |
| (8) 日本学術会議の活動と宇宙科学プログラムについて | |
| (1) 天文・宇宙物理分野 | 資料4-8-1 |
| (2) 月惑星分野、大型計画 | 資料4-8-2 |
| (9) 議論（今後の宇宙科学プログラムについて） | |
| (1) 海外ミッションへの参加協力について | 資料4-9-1 |
| 大型・中型・小型の頻度はどうあるべきか？ | |
| 新たな海外ミッションとの協力について | |
| (10) 火星大気散逸探査ミッションWG設立について | 資料4-10-1, 2 |

以上